

令和6年度入省予定 環境省一般職理工系

内定者の声

- * 内定者プロフィール
- * 公務員試験対策
- * 官庁訪問体験記

はじめに

「内定者の声」を手にとっていただき、ありがとうございます。

本書は、未来の仕事仲間たる皆さんの不安や疑問を解消するために、内定者の私たちが作成したものです。第1部では「内定者はどのような人か」、第2部では「公務員試験をどのように乗り切ったか」、第3部では「官庁訪問はどうだったか」について記載しています。

ぜひご参考にしてください！

2023年12月 令和6年度入省予定 環境省一般職理工系内定者一同

本冊子の構成

はじめに (P.1)

第1部 内定者を知ろう！ (P.2 ~ P.17)

- 内定者の基本データ（学科/専攻、性別、就活スケジュール等）
- 志望動機
- 環境省を志望される方へのメッセージなど

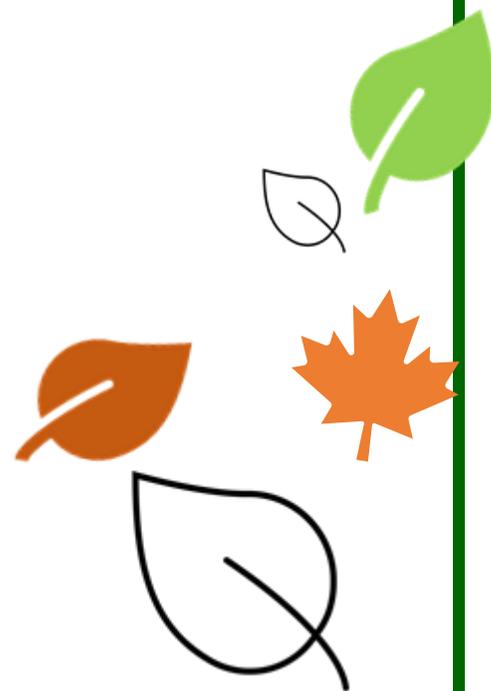
第2部 公務員試験を知ろう！ (P.18 ~ P.35)

- 内定者の公務員試験基本データ（試験区分、席次等）
- 勉強量について
- 勉強内容・試験内容について

第3部 官庁訪問を知ろう！ (P.36 ~ P.44)

- 環境省の官庁訪問について
- 内定者の官庁訪問基本データ（併願先等）
- 官庁訪問参加者による座談会

おわりに (P.45)





第1部 内定者を知ろう！



第1部 内定者を知ろう！

令和6年度入省予定の一般職理工系内定者は、全7名となりました。

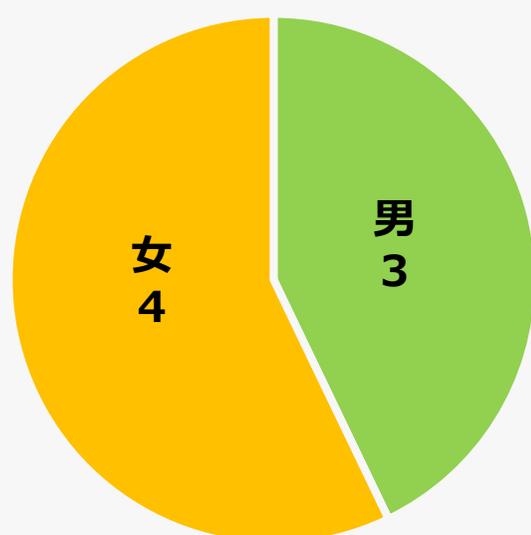
第1部では、まず今年の内定者の内訳を過去5年間のデータと併せて概説したのち、内定者各人のプロフィールを掲載しています。

また、個人情報保護の観点から実名の代わりに各内定者のペンネームを使用しています。あらかじめご了承ください。

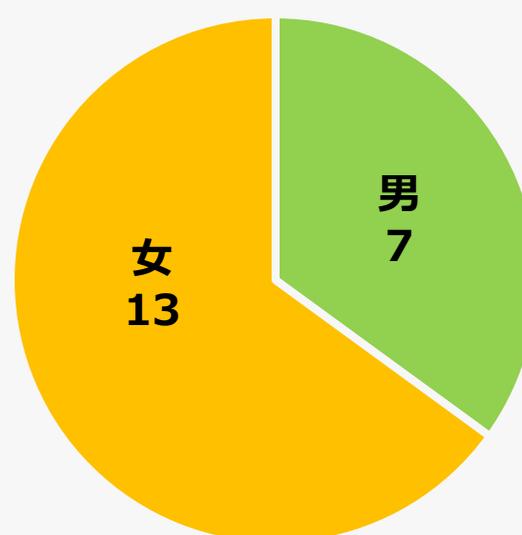
□ 内定者の基本データ

□ 男女比

令和6年度入省予定内定者

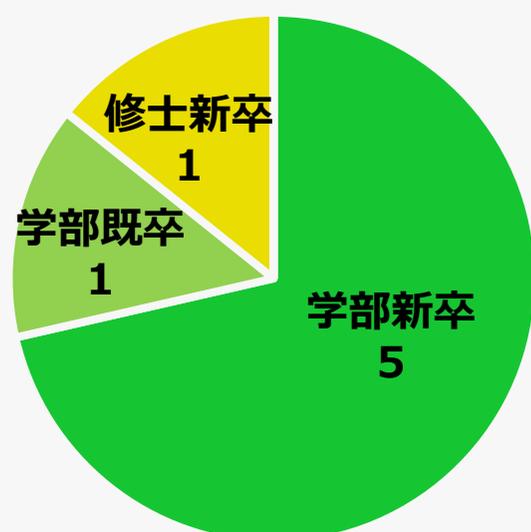


過去5年間

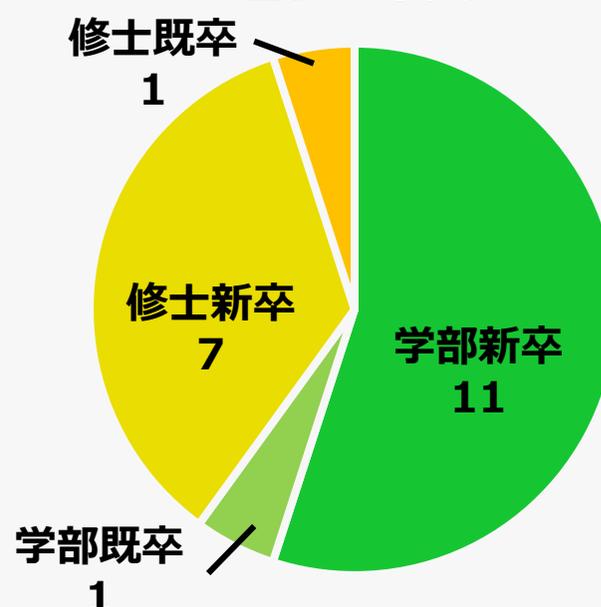


□ 最終学歴

令和6年度入省予定内定者



過去5年間



次のページからは一般職理工系内定者7名一人一人を紹介していきます。

趣味や研究内容から、環境省を目指した理由まで詳しく載せているので、ぜひ参考にしてみてください！

No.1 じゅごびそ (22歳・女)

□ プロフィール



試験区分	農学
大学所在地	神奈川県
学部/研究科	農学部
学科/専攻	生物資源開発学科
研究内容	海牛目の休息行動の種間比較
出身地	埼玉県
部活動/サークル	書道部
趣味/特技	水族館・動物園めぐり、書道
好きなもの	和菓子・洋菓子、ミュージカル

□ 就活事情

併願先(民間)	なし
併願先(官公庁等)	農林水産省、東京都、 国立研究開発法人
インターン参加先	劇団事務職



大学3年

秋頃まで院進を考えていたが、就職に転向。

民間企業志望だったが、2月末の1day仕事体験で国家公務員が本命に。情報集めや公務員試験勉強をここから始める。

大学4年

教育実習最終日の翌日に一般職試験だったため、疲れで集中できず正直落ちたと思っていた。

自己採点から合格すると思わず油断していたら、合格。慌てて、官庁訪問の準備を始める。

既に内々定をいただいていた都庁等と迷ったが環境省に決定。内定をいただいた。

研究対象かつ全生物で最も可愛いと思っているジュゴン(アイコン)とマナティーです！研究でずっと観察できて幸せです…♡

□ 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

幼い頃から動物、特に水の中で生息する哺乳類が好きだったため、動物たちに関わる仕事がしたいと考えていました。大学に入って動物だけでなく、様々な生物について学ぶうちに、動物だけで無くもっと幅広く、動物たちの生活する環境に繋がるような仕事がしたいと考え、興味を持ちました。

併願先との比較

併願先は環境を専門にやっているのではなく、業務の中心に、都民生活や農業があり、一部に環境系が絡んでいる点が異なる点だと思います。また、都庁は農林水産省や環境省と異なり、地方公務員に当たるので仕事の規模感も大きく異なります。

最終的な決め手

都庁、農林水産省とでかなり悩みましたが、何をやりたいか考えたとき、それぞれ将来取り組みたいと思っていたことが全て環境にまつわることでした。であれば、どんな仕事であっても環境に関連する環境省で仕事をしていきたいと思い決めました。

□ 就活エピソード

就活と教育実習期間が被ってしまい、国家公務員試験の日程も近くかなり焦りました。教職なんて取らなければ良かったとも思いましたが、誰にでも分かる言葉で伝えることや人前で話す度胸が身に付いたのでやって良かったです。

Success !!

就活で得た知見を自分なりに消化して、志望理由等に肉づけできたところが良かったと思います。

Failure ...

環境省の理工系について初めてお聞きしたのが1次合格者合同説明会だったので、もっと早い時期に聞いておくべきでした。

□ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

実習であったり、研究であったりと直接就活に関係の無さそうなことでも、今しかできないことをやっておくと良いと思います。どんな経験でも糧になり、視野を広げてくれます…！

対策のスタートが遅くなってしまうったり、実習が被ってしまったりと、焦ってしまうこともあると思いますが、今できることをしっかり取り組んで、後はどんとこいの気持ちで頑張っていきましょう！

No.2 晴れ男 (24歳・男)

□ プロフィール



試験区分	物理
大学所在地	千葉県
学部/研究科	理学系研究科
学科/専攻	地球惑星科学専攻
研究内容	気候モデルによる熱帯太平洋の変動
出身地	東京都
部活動/サークル	ランニング
趣味/特技	ランニング・サウナ
好きなもの	スパイスカレー

□ 就活事情

併願先(民間) 損保会社、民間気象会社

併願先(官公庁等) 気象庁

インターン参加先 なし

大学院1年

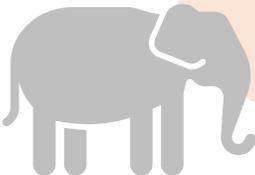
国家公務員を視野に入れつつ、民間企業のインターンや面接対策に注力。しかし、授業や研究が忙しく、就活が思うように進まない。

大学院2年

民間企業の本選考も失敗を繰り返し、2月から本格的に過去問にとりかかり、筆記試験に合格。

その後官庁訪問を経て、気象庁と環境省で迷いつつも環境省を選択。内定。



タイのレッドカレーを自作しました！ 

□ 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

修士課程の研究で地球温暖化や気候変動について取り扱ってきました。環境省では、これらの問題に取り組んでおり、温暖化対策や適応に向けた政策に関する業務を行っている、ということを知り、興味を持ちました。

併願先との比較

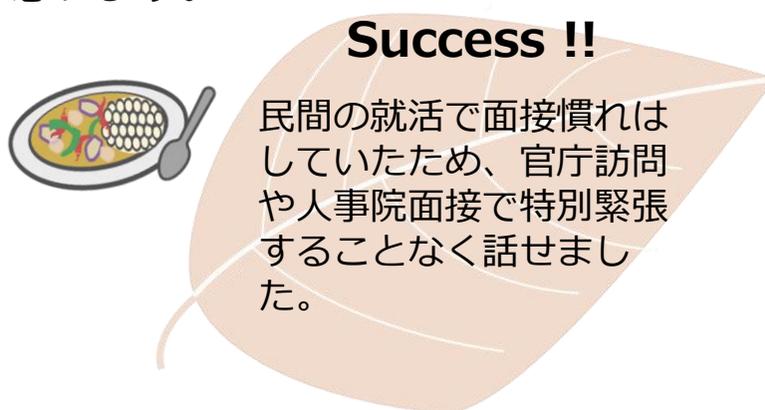
併願先の気象庁とは非常に悩みました。しかし、地球温暖化や気候変動については業務内容が気象庁よりも環境省のほうが近いと感じました。

最終的な決め手

地球温暖化や気候変動において、自分の専攻していた大気や海洋という視点からだけでなく、水圏や土壌環境など多くの視点から仕事ができる、ということが決め手となりました。

□ 就活エピソード

民間企業と併願し、研究や勉強との両立が難しくうまくいかないことのほうが多かったです。しかし、自分の中に明確な就活軸があったことと過去の知識や経験をどう仕事に活かすか？ということをしっかり考えたことが最後結果につながったと思います。



□ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

視野を広げ、自分のやりたいことや継続して頑張れたことがどこで、どのように活かせるか？を大切に就活を進めると良いと思います。そのために、興味がある分野に関わる業界や企業、官公庁を調べ、より多くの業務説明を聞くと自分の就活軸もぶれず、面接でもしっかりした志望動機を作れると思います！頑張ってください！

No.3 おもち (21歳・女)

□ プロフィール



試験区分	化学
大学所在地	静岡県
学部/研究科	理学部
学科/専攻	化学科
研究内容	Pd触媒の焼成とその光触媒活性評価
出身地	静岡県
部活動/サークル	陸上競技部
趣味/特技	ランニング
好きなもの	かつおのたたき、韓国ドラマ



□ 就活事情

- 併願先(民間) なし
- 併願先(官公庁等) 原子力規制庁
- インターン参加先 地元の市役所、県庁



大学3年

公務員を目指し、夏休みから徐々に勉強を始める。
 年内は地元市役所or県庁が第1志望だったが、冬休み頃から国家公務員への志望度が上がり国家公務員の説明会にも参加するようになる。
 年明けから試験勉強に力を入れるようになる。

大学4年

説明会に参加したり調べたりしていくうちに環境省に魅力を感じる。
 官庁訪問を終え、環境省と地元市役所でかなり迷ったものの環境省を選択。

景色の良いところを走るのが好きです☆



□ 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

日頃から環境問題に関心があり、環境にやさしい生活を心掛けたり、研究室ではグリーン水素製造のための触媒の高活性化に取り組んでおります。そんな中で、将来も環境に関する仕事に就きたいと思うようになりました。環境省は環境に関する仕事の中でも、環境のことを第一に考えられるというところに惹かれて、環境省に興味を持つようになりました。

併願先との比較

環境を守り、よりよくしていきたいというのが私の就活の軸で、環境省も併願先であった原子力規制庁も地元の市役所（化学職）も、その点においては同じだと思います。その手段が、環境省なら様々な環境政策を通じて、原子力規制庁なら原子力規制を通じて、地元市役所なら自分の手で検査・分析をしてという違いがあると思います。

最終的な決め手

地球温暖化対策のようなグローバルな仕事から、福島再生復興のようなローカルな仕事まで、幅広く環境に関する仕事に携わることができるという点に魅力を感じ、最終的に環境省を選びました。それから、官庁訪問で出会った頼もしい同期の皆さんと一緒に働きたいと思ったのも理由の1つです。

□ 就活エピソード

私は公務員に絞って就活をしていました。自分の周りに技術系で公務員を目指す人があまりおらず、自分の勉強方法が正しいのかということや、情報の仕入れ先があまりないという部分で不安な面もありました。しかし、自分を信じてコツコツと努力した結果、無事に内定をいただくことができました。



Success !!

研究室や部活動で忙しい時期もありましたが、限られた時間で試験勉強や面接対策を効率的に行えたことです。

Failure ...

面接や官庁訪問で緊張してしまい、どれだけ事前に練習しても声が震えてしまったことです。



□ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

この先の人生の大きな岐路になる就職において、山ほどある選択肢の中から1つの就職先を選択することは難しいと思いますが、色々なところを見て、調べて、納得のいく就職先を見つけてほしいです。環境省では、説明会や座談会、職員訪問など職員の方々とお話できる機会が数多くあります。環境省に少しでも興味がある方は、ぜひこのような機会を利用して、環境省の仕事内容や雰囲気などを感じてみてください。この内定者の声を読んでくださっている皆様が、自分の納得のいく就職先を見つけられることを祈っております。

No.4 ペンタコス (22歳・女)

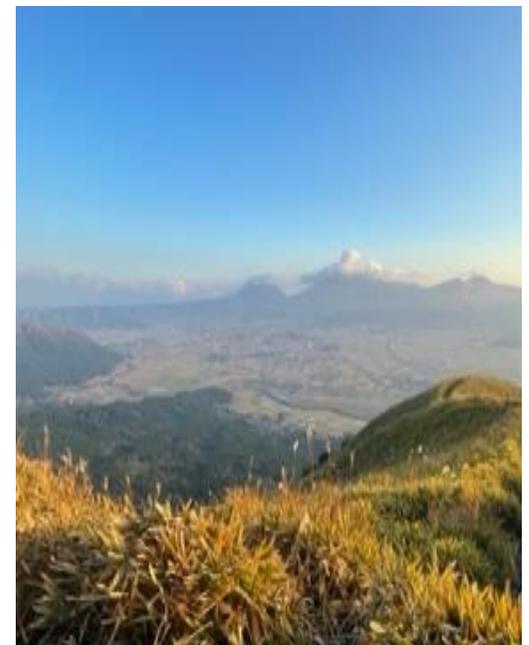
□ プロフィール



試験区分	化学
大学所在地	熊本県
学部/研究科	工学部
学科/専攻	材料・応用科学科
研究内容	非貴金属を使用した排ガス浄化触媒
出身地	福岡県
部活動/サークル	文化祭実行委員サークル
趣味/特技	筋トレ・ジグソーパズル・アニメ鑑賞 /水泳
好きなもの	ペンギン、チーズケーキ

□ 就活事情

- 併願先(民間) なし
- 併願先(官公庁等) 経済産業省
- インターン参加先 財務省、農林水産省



大学3年前期

- ・省庁と民間企業の両方のインターンや説明会に参加。
- ・自己分析と企業研究に力を入れていた。
- ・実験が忙しく、勉強がほぼできていなかった。

大学3年後期

- ・民間企業の早期選考に参加して面接対策。
- ・筆記試験に向けて勉強スタート（年明け頃から）。

大学4年

- ・国家一般職の一次を無事通過。
- ・官庁訪問のために政策説明会のメモや白書を熟読。
- ・官庁訪問期間中、経済産業省と迷ったうえで環境省に決める。

阿蘇の大観峰から見える景色です！



□ 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

環境に興味を持ったきっかけは、幼い頃から大好きな生き物が生きていけない世界にしたくないという気持ちからです。また、環境省に興味を持ったきっかけは、私が現在住んでいる熊本県は四大公害が発生した県であることから、利益を考えずに環境を守りたいと考えたからです。

併願先との比較

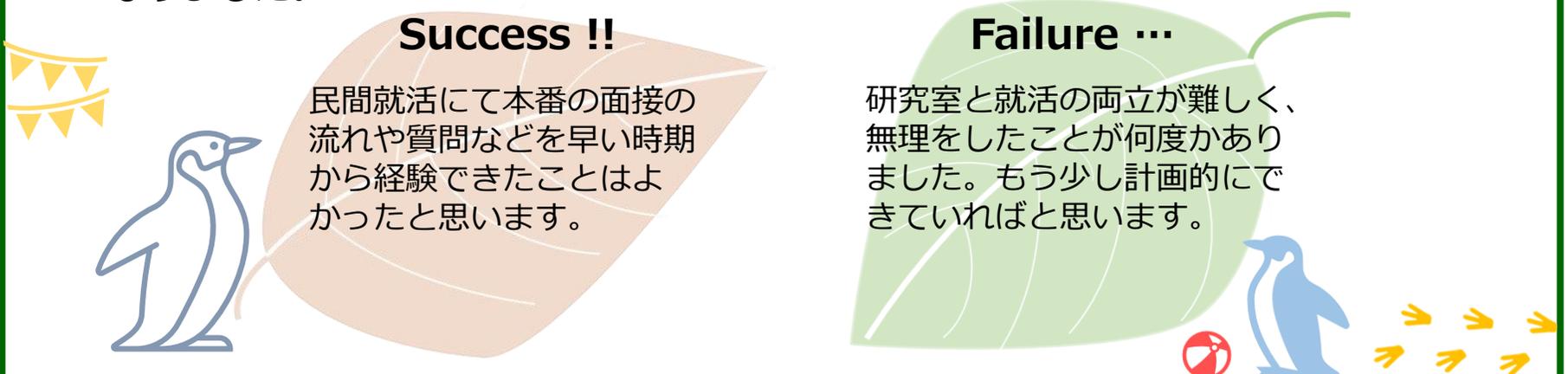
経済産業省は、資源・エネルギー系の政策を行っていることから、再エネにも力を入れています。そして、私は再エネを中心としたエネルギー政策に興味があったので、経済産業省も志望していました。

最終的な決め手

経済産業省と環境省の大きな違いは、エネルギー政策に対する姿勢と感じます。経済産業省はエネルギーを日本国内に安定的に供給することが最優先、環境省はエネルギーと環境の両立が最優先と感じました。そして、私の就活の軸は利益を考えずに環境を守ることであったため、環境省を選びました。

□ 就活エピソード

学部3年の頃は民間の就活と並行して省庁の説明会などに参加していましたが、学部4年からは研究室が始まり、民間の就活はできなくなりました。また、環境系の研究室であったことから、環境に関する職に従事したいという気持ちが強くなりました。



□ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

環境問題が身近な事柄になり、環境に関連した企業や職種に就きたいという方は多いと思います。環境省は「日本全体の環境問題を解決したい」や「世界と協力して環境を良くしたい」と考える方にとって、魅力的な選択肢だと思います。しかし、環境省だけ！と早くに絞るのではなく、ほかの選択肢まで視野を広げたいので、就職先を決めてほしいと思います！皆さんの就職活動がより良いものになることを応援しています！！

No.5 アカギ (21歳・男)

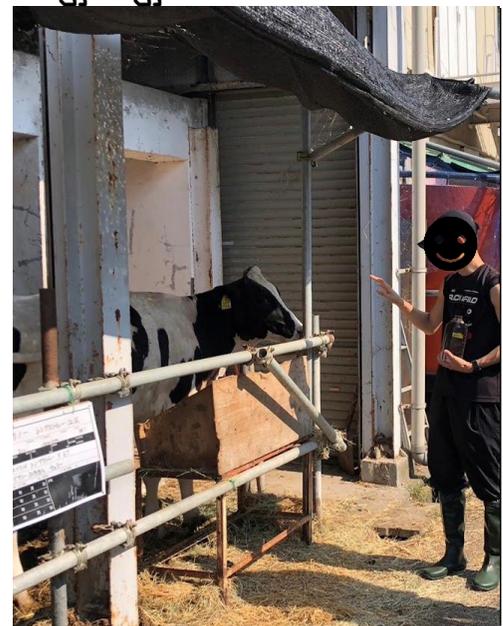
□ プロフィール



試験区分	化学
大学所在地	東京都
学部/研究科	創造理工学部
学科/専攻	環境資源工学科
研究内容	福島林内の放射性物質の長期動態解明
出身地	埼玉県
部活動/サークル	陸上部
趣味/特技	ジブリ鑑賞
好きなもの	お風呂マット

□ 就活事情

- 併願先(民間) なし
- 併願先(官公庁等) 文部科学省
- インターン参加先 埼玉県庁



大学3年

県庁や市役所の説明会やインターンなどに参加
他企業の説明会などを聞き、色々な職業について
の情報を集める。

大学4年

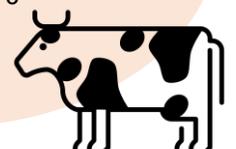
公務員試験は3月から開始。
最初の試験は、市役所の試験で、6月に控えた県
庁や国家一般職に向けて、本格的に勉強。

5月に教育実習があったため、平日は教育実習、
土日に市役所の筆記試験を受験した。

6月に国家専門職や国家一般職、県庁の一次試験、
7月にそれぞれの2次試験と教員採用試験を受験し
た。



サンプリングであった
牛さんと仲良しになった
ときです。



□ 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

研究で福島県里山における放射性物質の長期動態に関する実験に取り組み、福島の放射性物質に汚染された廃棄物の最終処分場の問題や除染について興味を持ちました。そして、福島の環境再生に関わる取り組みや地域循環共生圏の取り組みを環境省が行っていることを知り、この仕事に興味が湧きました。

併願先との比較

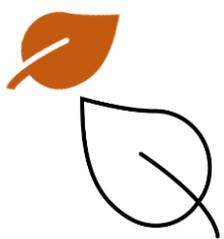
もともとは教育が好きで、教育実習も行っており、教育に携わる文部科学省と迷っていましたが、しかし、学部、学科で学んできた「環境」に関する知識や研究を活用できる仕事に携わりたいという思いが根本にありました。そのような思いから、環境省を志望しました。

最終的な決め手

最終的な決め手は、「環境問題の解決」という非常に大きいなスケールの問題解決に貢献できる機会があり、その問題が解決されたとき、日本だけでなく地球規模で影響を及ぼすことができる職業だと思ったからです。同時に、自分の専門知識なども活かせる職業ということで、環境省に決めました。

□ 就活エピソード

公務員試験と教育実習が被ったり、ゼミ発表が面接期間と被ったりしたときは計画をたてるのが大変でした。



Success !!

時間が短い中で、優先順位を考えて、必要な科目を取捨選択できたことで、効率よく勉強できたことです。

Failure ...

大学院進学と就職で迷っていたとき、公務員試験の対策を遅れてしまったことが失敗です。



□ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

ここに書いてあることはあくまでも参考です。
人それぞれ就職活動の仕方や戦略は異なると思うので、自分にあった方法を見つけてください。

頑張ってください。

No.6 むめも (26歳・女)

□ プロフィール



試験区分	化学
大学所在地	京都府
学部/研究科	工芸科学部
学科/専攻	物質工学課程
研究内容	琵琶湖水中粒子状物質の起源解析と懸濁態リンの動態解析に関する研究
出身地	長野県
部活動/サークル	茶道部
趣味/特技	温泉旅行、美術館巡り、お菓子作り
好きなもの	インテリア、紅葉、ティラミス

□ 就活事情

併願先(民間)	なし
併願先(官公庁等)	なし
インターン参加先	なし



大学3年

2月頃から公務員試験の勉強を開始する。

大学4年

地方自治体から内定をいただく。

社会人1～2年

地方自治体に就職し、仕事と趣味を頑張る。

社会人3年

将来を考え直し転職を決意。12月頃から公務員試験の勉強を開始する。

社会人4年

官庁訪問などを経て内々定をいただく。

官庁訪問当日の朝食です。おなかが空いては困ると思い、たくさん食べました。

□ 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

小学生の時から学校で地球温暖化などの環境問題について学ぶ機会が増え、子どもながらに危機感を覚えました。中学生の時にカナダへホームステイに訪れた際は、日本とは異った植物が織りなす景観や文化の違いを肌で感じ、感動しました。このような地球上の美しい自然や文化を守る仕事がしたいと思ったことが、環境分野に興味を持ったきっかけです。

併願先との比較

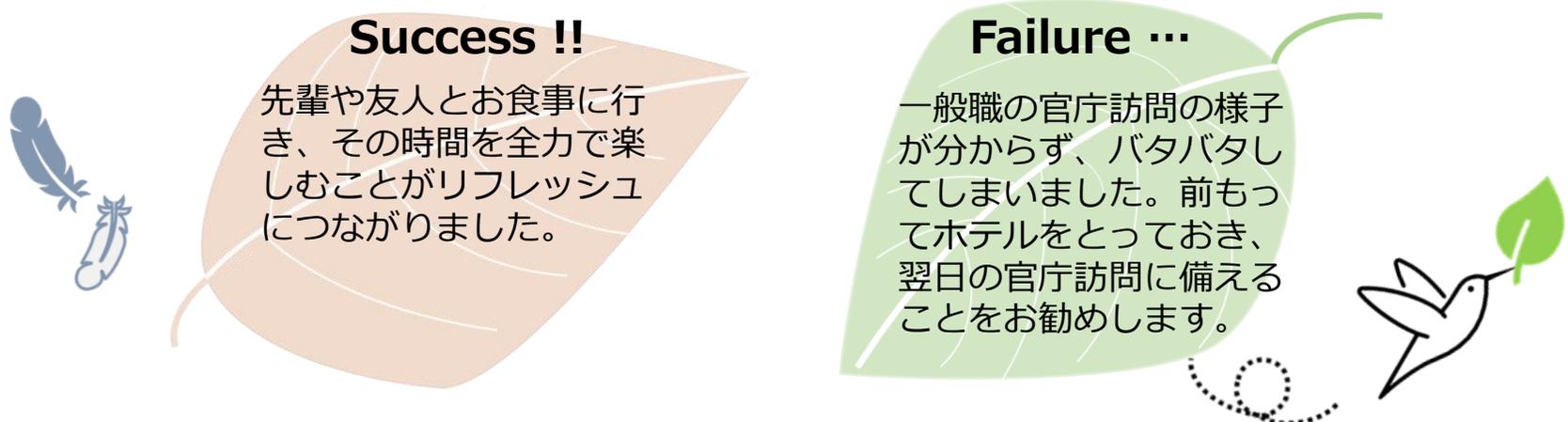
今回の転職活動では環境省以外は併願しませんでした。4年前、学生だった時は地方公務員以外に財団法人をひとつ受けました。大学のキャリアセンターだけでなく実際の面接を経験できたことが、当時大きな自信につながりました。ご参考までに。

最終的な決め手

前職では環境保全に関わる現場業務に就いておりましたが、働いているうちに他の自治体の取り組みや地球環境全体を見てみたいという思いが徐々に大きくなりました。官庁訪問の際は、想像以上に素敵な雰囲気職場だと感じました。これまでの現場経験を大切にしつつ、地方に寄り添えるような働き方ができればと思っています。

□ 就活エピソード

平日の仕事帰りや休日は外の景色が見えやすいカフェや図書館などで勉強して、晴れた日はよく散歩をしていました。面接対策などでは、市で運営している職業相談所に行ってアドバイスをいただいていた。



□ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

最初は1次試験の対策のことで頭がいっぱいになりがちですが、早い段階で環境省の具体的な仕事内容を調べて、その中で自分がどんな仕事に携わりたいかを考えておくことで、官庁訪問の準備になるだけでなく勉強のモチベーションにもつながると思います。社会人生活はとても楽しいので、将来のことに対して不安になりすぎないように頑張ってください！

No.7 ちばっこ (23歳・男)

□ プロフィール



試験区分	化学
大学所在地	東京都
学部/研究科	工学部
学科/専攻	化学物理工学科
研究内容	乾式メタン発酵
出身地	千葉県
部活動/サークル	なし
趣味/特技	カラオケ、海辺の散歩
好きなもの	餃子

□ 就活事情

- 併願先(民間) なし
- 併願先(官公庁等) 農林水産省
- インターン参加先 なし

大学3年

進学以外の選択肢を増やそうと思い、公務員試験を受けようとする。説明会や座談会に参加して環境省に興味をもつ。

大学4年

一般職の1次試験に受かり官庁訪問を経て、最終合格。内々定をもらう。



館山の海で
タコを釣りました。

□ 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

大学の授業や研究紹介を通して環境を意識するようになり、その中でも特に「廃棄物処理」と「脱炭素政策」に興味をもちました。また、環境省の説明会や座談会に何度か参加するうちに環境技術の技術支援や制度づくりに魅力を感じるようになりました。

併願先との比較

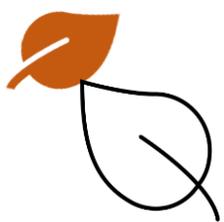
研究がバイオマスに関するテーマだったので、農林水産省も視野に入れていました。しかし、環境を軸にしたかったのとバイオマス以外の脱炭素技術にも興味があったので、環境省が第1志望になりました。

最終的な決め手

説明会や座談会に参加していくうちに、環境省が第1希望になっていました。特に対面では参加者がどんな人なのかわかったり、質問するととても丁寧に答えてくれて働くイメージが湧きました。

□ 就活エピソード

民間就活は全くしませんでした。履歴書の書き方や今後の面接の参考のために行うべきだったと思います。



Success !!

説明会や座談会にたくさん参加しました。情報収集はもちろん、質問する経験を積むことができました。

Failure ...

大学院試験対策と公務員試験対策の両立が大変で、もっと早めに計画を立てて取り組むべきだと思いました。



□ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

座談会や説明会に参加することを強くお勧めします。自分のやりたいこととマッチしているか確認できたり、下手な質問でも丁寧に答えてくれて官庁訪問の参考になりました。

面接ではとにかく環境省に対する熱意をぶつけてください。そのために、興味ある環境問題とそれに対する自分の考えをきちんとまとめておく自信をもって説明できると思います。